

新潟県

公民館月報 7

平成9年7月号 通巻第533号



表紙 ビジョンよしだ
(吉田町公民館)

特集 環境学習、通船川の再生化を目ざして

- 視 点 何を以てして……?
- ひろ 庭 ようこそ日本へ
- 実 験 記 録 歴史街路ワクワク再発見
- サークル交流 小滝竹の子会 (糸魚川市)
姫野町春駒愛好会 (姫野町)
- 奈 須 拜 見 加石宗一 (柏崎市柏崎公民館)
伊 比 孝 (西面町教育委員会)



第 2 回 理 事 会 開 催

第 48 回 新 潟 県 公 民 館 大 会 に お け る 受 賞 候 補 の 選 考 終 了 永 年 勤 続 表 彰 は 十 五 名 優 良 公 民 館 は 二 館

去る 6 月 18 日 (水) 新 潟 市 中 央 公 民 館 で、第 2 回 理 事 会 が 開 催 さ れ た。

主 たる 議 題 は、第 48 回 新 潟 県 公 民 館 大 会 に お け る 優 良 公 民 館 並 び に 永 年 勤 続 者 表 彰 の 候

補 者 の 選 考 で あ っ た。

一、優 良 公 民 館 の 部 で は、あ ら か じ め 推 薦 の あ っ た 公 民 館 は 柏 崎 市 中 央 公 民 館、

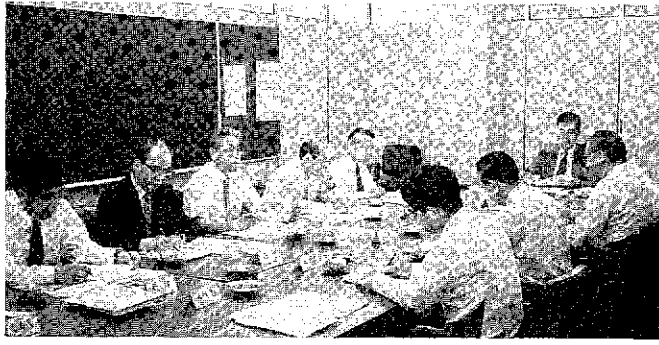
二、永 年 勤 続 者 表 彰 の 部 で は、公 運 審 7 名、館 長 1 名、運 営・推 進 員 等 7 名 の 計 15 名 が い づ れ も 適 格 と 認 め ら れ、全 員 受 賞 と

は な っ た も の の、勤 続 年 数、活 動 状 況 等 が ぎ り ぎ り の ケー ス も 一、二 見 ら れ、今 後 の 検 討 課 題 を 残 す こ と と な っ た。

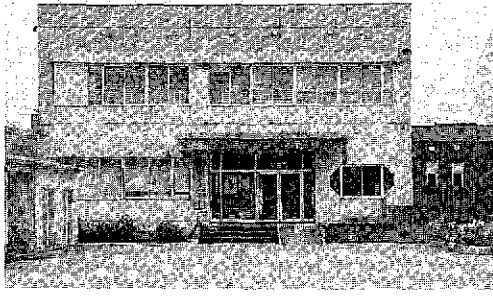
な お 受 賞 決 定 の 永 年 勤 続 者 は、下 欄 別 表 の と お り で あ る。

三、そ の 他 の 議 題 で は、第 46 回 全 国 公 民 館 振 興 大 会 に お け る 優 良 公 民 館 職 員 並 び に 永 年 勤 続 職 員 候 補 の 推 薦 に つ い て 協 議 さ れ た。

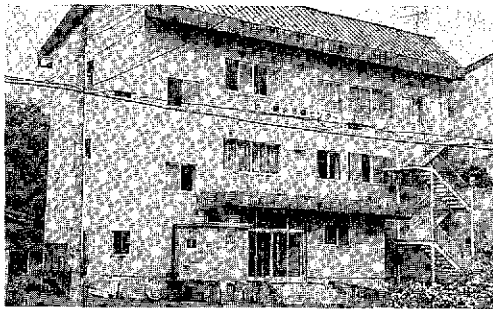
ま た、県 大 会 運 営 委 員 の 委 嘱 が、今 井 会 長 よ り 全 理 事 に な さ れ、会 議 は 無 事 終 了 し た。



熱 心 な 協 議 が な さ れ た 理 事 会



受 賞 さ れ る 柏 崎 市 黒 姫 公 民 館



受 賞 さ れ る 柏 崎 市 鶴 川 公 民 館

永 年 勤 続 者 表 彰 (敬 称 略)

- 保 倉 淳 治 新 潟 市 坂 井 輪 地 区 公 民 館 前 公 運 審 委 員
- 三 國 隆 榮 新 潟 市 中 地 区 公 民 館 公 運 審 委 員
- 西 方 健 太 郎 三 条 市 大 島 公 民 館 公 運 審 委 員
- 金 子 幸 一 柏 崎 市 南 鱈 石 公 民 館 前 館 長
- 磯 昭 夫 柏 崎 市 前 公 民 館 推 進 員
- 小 澤 石 夫 燕 市 小 中 川 公 民 館 推 進 員
- 渡 邊 秀 昭 燕 市 小 中 川 公 民 館 運 営 委 員
- 渡 邊 秀 昭 燕 市 小 中 川 公 民 館 運 営 委 員
- 伊 藤 正 文 名 立 町 公 民 館 部 長 (規 則 設 置)
- 中 野 ヨ シ 巻 町 公 民 館 前 公 運 審 委 員
- 藤 田 祐 司 与 板 町 公 民 館 推 進 員
- 猪 口 直 治 中 郷 村 公 民 館 公 運 審 委 員
- 本 間 重 藏 豊 栄 市 中 央 公 民 館 公 運 審 委 員 長
- 杉 野 正 作 栃 尾 市 公 民 館 公 運 審 委 員 長
- 高 橋 ヨ ミ 子 燕 市 松 長 公 民 館 運 営 委 員
- 渡 邊 繁 燕 市 小 中 川 公 民 館 運 営 委 員

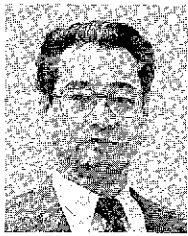
◆ 全 国 公 民 館 連 合 会 総 会

6 月 13 日 (金) 今 井 会 長 出 席

◆ 全 国 都 道 府 県 公 運 事 務 局 長 会 議

6 月 20 日 (金) 鈴 木 事 務 局 長 出 席

会 場 は、い ず れ も 東 京 都 虎 ノ 門 パ ス ト ラ ル で 開 催 さ れ た。 総 会 で の 協 議 内 容 は、平 成 8 年 度 事 業 報 告 並 び に 決 算 報 告 に つ い て、平 成 9 年 度 事 業 計 画 並 び に 予 算 案 に つ い て、第 20 回 全 国 公 民 館 研 究 集 会 に つ い て 等 事 務 局 長 会 議 で は、総 会 で の 結 果 に つ い て の 報 告 が な さ れ、 以 下 の 事 項 で は、会 長 は じ ば ら く 大 西 副 会 長 が 代 行 す る こ と、月 刊 公 民 館 の 購 読 に つ い て 各 都 道 府 県 格 段 の 努 力 を 期 待 す る、と の 話 が な さ れ た。



に遣えるまとまった相当の金額が配当されたので早速美術担当教師を呼び、美術教育の充実を目ざして施設の改

視点

かねてから情操の陶冶を教育の重要課題と考えていた都内A高校の校長は、偶然に自由

関プロだより第2号

分科会発表者からのメッセージ

第14分科会

環境学習

「坂井輪地域学研究会」の運営と取組みについて

新潟県新潟市坂井輪地区公民館
運営審議会委員 飯塚 謙助さん

国の中核都市指定を受けた日本側最大の人口を有する新潟市は、国際高速交通網の拠点として恵まれた条件を活かし、環日本海交流の推進役として注目を集めています。

その新潟市の中にあつて、自分たちの住む地域の課題を研究しようと、地元の大学と公民館が連携して事業を実施し、地域住民参加型の坂井輪地域学研究会が発足、目下ごみ問題を中心に生活環境学習に取り組んでいます。

第14分科会は、新潟県の担当で

◇司会者として、西新潟市民会館長(前新潟市坂井輪地区公民館長)の吉田英延さんが進行にあたられ、◇助言者として、鶴新潟県社会教育協会副会長の佐藤貞正さんが指導にあたられます。

なお、関プロ大会事務局からの本県への参加要請数は、50名の枠であります。29名参加の予定です。

また、県内参加者による情報交換の会も予定しております。

何を目ざして……？

長谷部

昇

意欲的に自分なりのプランをまとめ施設の改造と備品の調達を業者に発注した。業者は同教諭の依頼を快く引き受け、美術教室は短期間のうちに姿を変え

造と備品の調達を命じた。他の教職員たちのうらやましげな視線に耐えながらも同教諭は各方面から大量の資料を寄せ集め、美術教師としてのこれまでの夢を現実のものとするべく

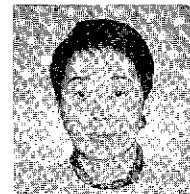
た。さて、美術教育の世界的権威・フランスのB教授が来日した折に同高校を訪問した。こやかな笑みを浮かべながら施設・設備を視察した教授は、感想を求め

摘されたという。

この話を初めて聴いた時、深い意味と常に心せねばならない内容が含まれていると私は思った。

(新潟県立新潟東高等学校校長)

見られず、粗悪品が多



ようこそ日本へ

川室京子

「話せれば教えられ」 という大きな錯覚から一人の外国人に日本語を教えるはじめてのがキッカだった。以来十二年。気がつけば、上越地区三つの行政の公民館で、合計五十人近いスタッフと八十名以上の学習者がかかえる外国人の為に日本語教室の責任者となっていた。その上、大学で留学生の日本語授業まで担当させて戴くに至っては、我が身の変わりように驚くばかりである。

ひるば

この間ただ責任感だけで、我ながらよく勉強したとは思わけれど、この情熱を支えてくれたのは学習者の学びたいという意欲、それだけであった。学習者には三つのタイプがある。一つは外国から日本人に嫁いで来た女性達。二つ目は留学生。三つ目は勤労者である。いづれ帰国するに違いない留学生や勤労者には学習以外に我々が関与すべき事は無いけれど問題は外国人花嫁達である。大方の花嫁は貧困の国から来ていると思っている無理解な日本人もいる。そのうえ、白人系外人との対応の違いを感じている中で、母国からは「国から出た者」「日本ではいつまでも「外人」と云われるせめぎ合いの中で自己喪失に陥る者も無くはない。結婚生活自体、何でも有りの中で、でも大方の女性は、不満や失望を押しさえて、日本を終わりの住処と心に定め、家族の為に日本語を完璧にしようと思つて涙ぐましい努力をして教室に通って来ている。その努力、情熱を目の当たりにしたら、誰でも手を貸してあげたくなるに違いない。

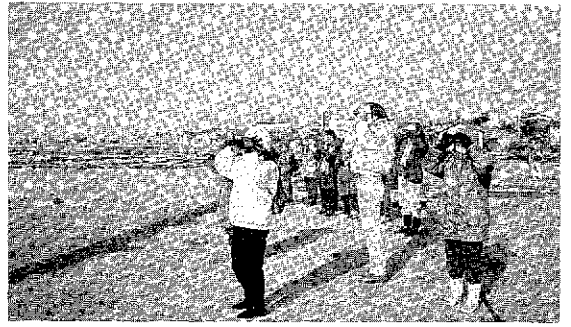
かくて彼女達に対する語学教育は、「訴える力、ケンカする力」をつける為という、すこぶる過激なスローガンを内輪には掲げて、日々研鑽に及ぶ次第。人間、何といつても、自分の言葉で自分の気持ちの説明出来るのが、どんな事より幸せで、生きる力になるのだと信じて、教室を駆け廻る毎日である。

(上越市立公民館 運営審議会委員)

学習 その1

の再生化を目ざして—

の取組み(館長 梶 瑤子)



野鳥ウォッチング

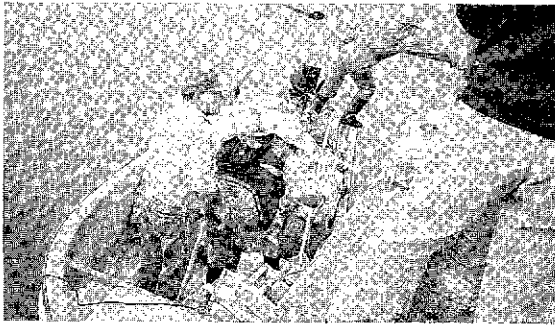
一、取組みの経緯
 地域の中でこの問題に取り組んでいる方が多くいるということは、公民館にとってとても力強いことであった。と同時に、「新潟の水辺を考える会」から北陸建設弘済会の地域活性化の研究助成を受けたので、「市民参加による身近な水辺回廊の再生手法の研究」—通船川を事例として—活動していきたい、との話がきた。正にこれらの三者の必然的な出会いを感じた。早速「通船川の環境再生」への取組みが始まった。地域における環境改善に取り組むには、先ず市民参加型でなければならぬことは皆共通の理解があった。三者がそれぞれ役割を分担しながら、通船川を取り巻く学習会の開催と、その活動への支援体制をスタートさせることだった。

幸いなことに、これらの会のメンバーにはその道の専門家(鳥、魚、植物、生物等)、自然保護の活動家が揃っていたことは、それからの活動に弾みがついたことはいままでもない。差しあたって環境講座を2カ月に1回程度開設し、市民の皆さんに「通船川」を理解してもらおうと同時に、この川をどんな川にしたいか、手づくりの町づくりへの手掛りになれば、とその取組みが始まった。

二、事業の実施の状況

- ① 平7・4・23(日)
 ○通船川ウォッチング(水棲生物調査)&生態の学習
 ○魚研究家 井上信夫 水棲昆虫研究家 石月升 35名参加
 平7・6・25(日)
 ○通船川の川辺の植物採集と川舟ウォッチング
 ○新潟大学理学部助教 石沢進也 55名参加
 平7・8・14(日)
 ○県外研修
 ・宇都宮市の笠川
 ・栃木市の巴波川
 ○水辺の会 大熊孝 13名参加
 平7・8・20(日)
 ○通船川セミナー
 「これからの河川を語ろう」
 ・景観についてのワークショップ
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 57名参加
 平7・9・10(日)
 ○県外研修
 ・富山市の松川、いたち川
 ・地元ボランティア「紙ふうせん」と懇談・見学
 ○水辺の会メンバー 16名参加
 平7・11・18(土)
 ○通船川シンポジウム—通船川の夢を語る—
 ・会場 新潟市万代市民会館
 ○主催 通船川ネットワーク
- ② 平7・6・25(日)
 ○通船川の川辺の植物採集と川舟ウォッチング
 ○新潟大学理学部助教 石沢進也 55名参加
 平7・8・14(日)
 ○県外研修
 ・宇都宮市の笠川
 ・栃木市の巴波川
 ○水辺の会 大熊孝 13名参加
 平7・8・20(日)
 ○通船川セミナー
 「これからの河川を語ろう」
 ・景観についてのワークショップ
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 57名参加
 平7・9・10(日)
 ○県外研修
 ・富山市の松川、いたち川
 ・地元ボランティア「紙ふうせん」と懇談・見学
 ○水辺の会メンバー 16名参加
 平7・11・18(土)
 ○通船川シンポジウム—通船川の夢を語る—
 ・会場 新潟市万代市民会館
 ○主催 通船川ネットワーク
- ③ 平7・8・14(日)
 ○県外研修
 ・宇都宮市の笠川
 ・栃木市の巴波川
 ○水辺の会 大熊孝 13名参加
 平7・8・20(日)
 ○通船川セミナー
 「これからの河川を語ろう」
 ・景観についてのワークショップ
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 57名参加
 平7・9・10(日)
 ○県外研修
 ・富山市の松川、いたち川
 ・地元ボランティア「紙ふうせん」と懇談・見学
 ○水辺の会メンバー 16名参加
 平7・11・18(土)
 ○通船川シンポジウム—通船川の夢を語る—
 ・会場 新潟市万代市民会館
 ○主催 通船川ネットワーク
- ④ 平7・8・20(日)
 ○通船川セミナー
 「これからの河川を語ろう」
 ・景観についてのワークショップ
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 57名参加
 平7・9・10(日)
 ○県外研修
 ・富山市の松川、いたち川
 ・地元ボランティア「紙ふうせん」と懇談・見学
 ○水辺の会メンバー 16名参加
 平7・11・18(土)
 ○通船川シンポジウム—通船川の夢を語る—
 ・会場 新潟市万代市民会館
 ○主催 通船川ネットワーク
- ⑤ 平7・9・10(日)
 ○県外研修
 ・富山市の松川、いたち川
 ・地元ボランティア「紙ふうせん」と懇談・見学
 ○水辺の会メンバー 16名参加
 平7・11・18(土)
 ○通船川シンポジウム—通船川の夢を語る—
 ・会場 新潟市万代市民会館
 ○主催 通船川ネットワーク
- ⑥ 平7・11・18(土)
 ○通船川シンポジウム—通船川の夢を語る—
 ・会場 新潟市万代市民会館
 ○主催 通船川ネットワーク
- ⑦ 平8・3・24(日)
 ○新潟川ウォッチング
 ・都市型河川改修しつつある新潟川の状態見学と昆虫、鳥、水辺の観察
 ・新潟市「蒲原塾」との意見交換
 ・コース 能代川分流記念公園—一之堰—桃源橋—新潟市立図書館周辺
 ○新潟土木事務所河川課 田辺敏夫 水辺の会 102名参加
 平8・9・29(日)
 ○通船川ゴミウォッチング(予備調査)
 ・陸と川からゴミを回収し、第2貯木場を集める↓市清掃車による回収
 ○ルネッサンス21 30名参加
 平8・10・26(土)
- ⑧ 平8・3・24(日)
 ○新潟川ウォッチング
 ・都市型河川改修しつつある新潟川の状態見学と昆虫、鳥、水辺の観察
 ・新潟市「蒲原塾」との意見交換
 ・コース 能代川分流記念公園—一之堰—桃源橋—新潟市立図書館周辺
 ○新潟土木事務所河川課 田辺敏夫 水辺の会 102名参加
 平8・9・29(日)
 ○通船川ゴミウォッチング(予備調査)
 ・陸と川からゴミを回収し、第2貯木場を集める↓市清掃車による回収
 ○ルネッサンス21 30名参加
 平8・10・26(土)
- ⑨ 平8・11・17(日)
 ○講演会と通船川マスタープランづくり
 ・基本方針↓基本理念について参加者の意見交換
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 25名参加
 平9・3・30(日)
 ○都市河川視察
 (横浜市「いたち川」↓待徒川↓大道トンボ池)
 ・横浜川と海のこども会議に参加
 ・よこはま川を考える会との交流会
 ○東山の小学校児童2名参加
 新潟水辺を考える会11名参加
- ⑩ 平8・11・10(日)
 ○通船川クリーンアップ作戦
 ・川添い、川の中の清掃
 ・ミは約8トン位
 ○市清掃課 ジャスコ 新潟水辺を考える会 82名参加
 平8・11・17(日)
 ○講演会と通船川マスタープランづくり
 ・基本方針↓基本理念について参加者の意見交換
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 25名参加
 平9・3・30(日)
 ○都市河川視察
 (横浜市「いたち川」↓待徒川↓大道トンボ池)
 ・横浜川と海のこども会議に参加
 ・よこはま川を考える会との交流会
 ○東山の小学校児童2名参加
 新潟水辺を考える会11名参加
- ⑪ 平8・11・17(日)
 ○講演会と通船川マスタープランづくり
 ・基本方針↓基本理念について参加者の意見交換
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 25名参加
 平9・3・30(日)
 ○都市河川視察
 (横浜市「いたち川」↓待徒川↓大道トンボ池)
 ・横浜川と海のこども会議に参加
 ・よこはま川を考える会との交流会
 ○東山の小学校児童2名参加
 新潟水辺を考える会11名参加
- ⑫ 平8・11・10(日)
 ○通船川クリーンアップ作戦
 ・川添い、川の中の清掃
 ・ミは約8トン位
 ○市清掃課 ジャスコ 新潟水辺を考える会 82名参加
 平8・11・17(日)
 ○講演会と通船川マスタープランづくり
 ・基本方針↓基本理念について参加者の意見交換
 ○新潟大学工学部教授 大熊孝 25名参加
 平9・3・30(日)
 ○都市河川視察
 (横浜市「いたち川」↓待徒川↓大道トンボ池)
 ・横浜川と海のこども会議に参加
 ・よこはま川を考える会との交流会
 ○東山の小学校児童2名参加
 新潟水辺を考える会11名参加

※実施状況は紙面の都合で主なもののみ抜粋



ゴミクリーンアップ作戦

特集 環境

— 通船川

新潟市東地区公民館

三、通船川再生への課題

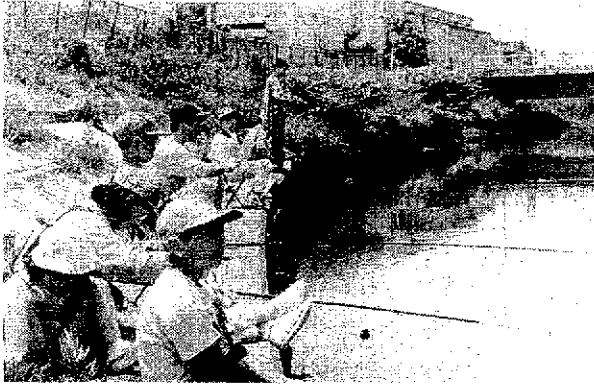
およそ二年余りかけて通船川の現状を「環境セミナー」という形で学習機会を市民に提供してきた。この川に思いを馳せる人、子供の頃の懐かしい思い出をもっている人、通船川という名前を初めて知った人、参加者の動機はそれぞれであったが、共通していることは、「この川は私たち市民にとってとても大切なこと、何とか夢のある川にして皆さんの素晴らしい共有財産にしたい」との願いを強く感じた。しかし、川を生かした地域づくりを進めるための課題は山積している。先ず

- (1) 浸水から市民を守るための排水機場の機能の強化
- (2) 生活排水、工場排水、農業排水等、様々な汚水が流れ込んでいるために「溜め池的な川」の水質の改善にどのように取り組むか(阿賀野川からの取水)
- (3) 30年近くにわたって積ったヘドロの問題と、生物にとっての良い環

1997年(平成9年)6月17日(火曜日) 県都版

(掲載許可済み)

新潟日報



釣り糸を垂れながら、回復しつつある川の自然にふれた通船川魚釣り大会=15日

新潟市大形本町一の通船川で十五日、「通船川魚釣り大会」(東地区公民館主催)が開かれた。親子連れなど三十人が参加、上空を飛ぶ野鳥など、川の自然に触れながら釣り糸を垂れた。釣り大会を主催した同公民館は、通船川に親しみながらその将来像を探っている市民団体「通船川ネットワーク」に加入している。今回の大会は釣りをしながら、三時間程度長二十七日から同ネットワークで再生を

通船川回復少し実感 魚釣り大会で自然も観察

境づくり

- (4) 大きな二つの貯木場の川利用
- (5) 都市型河川としての川の役割と自然との共存(自然型護岸)
- (6) 川辺を市民の憩いの場とする環境整備(魚釣り、遊歩道)等

四、これからの活動のあり方と公民館の役割

これまでの地域づくりはどちらかというと行政任せであった。しかし、市民が主役になって通船川にふさわしい都市河川のあり方を考えた時、今こそ行政と市民が一体となった川づくり

りに取り組むチャンスである。夢のある川づくりを進めていくためにも今後も公民館として次のことに取り組んでみたい。

- (1) 通船川ウォッチング(魚、植物、鳥等の観察)の継続学習機会の提供とワークショップ
- (2) 他都市の河川見学会の実施
- (3) 「通船川ルネッサンス21」等地域団体の育成とネットワーク化
- (4) 水辺シンポジウムの開催と市民参画型の川づくりの提言
- (5) 通船川の歴史、風土、史蹟等調査と環境保全
- (6) 地域の小、中学校で「通船川

の現状」学習会の実施

多くの市民から忘れられていた通船川、汚い川のイメージがまだまだ強く残っている通船川、マイナスイメージでは進歩がない。これをプラス指向への発想の転換とその夢の実現のためには一人ひとりができる活動から始めていくことではないだろうか。そのための公民館としての役割は、環境問題の提起、時代にマッチした専門家による学習会、イベントの開催、様々な情報発信基地機能等の多種多様な要求に応えていくことではないか、と考える。(文責鈴木)

新指す川の美態を捉え、おとく、魚の生息調査も兼ねて初めて企画した。参加者は午前九時にシャッフル集合、思い思いの場所でお釣りをし、川岸の草むらで子育てをすする野鳥を眺めたりした。かつては区内でも有数の汚れた川だった通船川だが、三時間程度長二十七日から同ネットワークで再生を

ラインが鮮やかなハヤなど合計約五百匹が釣り上げられ、参加者は少しずつ自然が回復していることを実感していた。

大人と子供の部で表彰も行われ、子供の部では七十匹のフナを釣り上げた小学五年生の直井彩香さんが大漁賞を、体長十九センチのハヤを釣り上げた中学生一年の石山剛君が大物賞を獲得した。

釣り上げた魚は専門家に依頼して、魚種などを詳しく調べている。

実践記録シリーズ (17)

生涯大学システム、モデル広域学習圏事業

「歴史街道ワクワク再発見」

—— 出羽街道探訪実行委員会 ——
(村上市・朝日村・山北町教育委員会)

五月、下越公連第一回評議員会の折、下越教育事務所社教課長さんのごあいさつの中で、この生涯大学システム、モデル広域学習圏事業」の実績が紹介された。とくに、出羽街道探訪の「歴史街道ワクワク再発見」が興味を引き、課長さんにお願したところ、早速、村上市から事業報告者が届くこととなった。

報告書の内容は大変すばらしく、詳細にまとめて月報に掲載したい一念であったが、紙面の

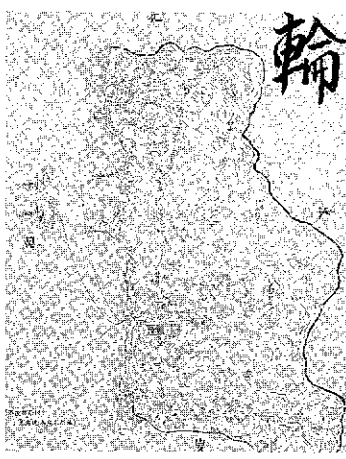
都合上、コース表、受講者の感想も一部抜すいとどまることとなったのが残念である。

開講式における記念講演「出羽三山と信仰の路」については、後日機会をみて再述してみたい内容である。

また、受講者の感想、講師、スタッフ、内容ともに良し、引き続きこういふ会がもたれることを期待している、とのことばがこの事業の成功を物語っている。それから、歴史ふるさとウォッチングの外、生活民具、食生活文化(調理実習)、

遺跡探訪等、幅広く、かつ奥深い内容となっている。大変充実している。

今回情報および資料提供いただいた下越・社教課長さん、村上市生涯学習課の方々に心から感謝申し上げます。
(月報編集部)



歴史街道ワクワク再発見事業

期 間	会 場	内容及び講師	参加者数
6月9日 (日)	村上市	開講式 記念講演「出羽三山と信仰の路」 戸川 安章 様 (鶴岡市) 歴史ふるさとウォッチング 「城下町、そして宿場町 村上」 赤羽 正春 様 (村上市史編纂協力員)	村上市 35人 (一般参加者を含む) 朝日村 23人 (一般参加者を含む) 山北町 20人 職 員 12人 合 計 90人

事務局の感想
天気にも恵まれ、初めてのこともあり、みんな楽しそうに歩いた。

7月21日 (日)	朝日村	歴史ふるさとウォッチング 石栗 幹造 様 (朝日村文化財調査審議会委員長) 鈴木 鏗一 様 (朝日村郷土史研究会) 小田 国彦 様 (朝日村郷土史研究会)	村上市 24人 朝日村 16人 山北町 16人 職 員 11人 合 計 67人
--------------	-----	---	---

事務局の感想
天気の崩れもなく、特別暑くもなく、ちょうどいい日となった。長坂峠の山道は少しきついかと想像したが、草なぎ、橋架けと朝日村の配慮が効を奏した。説明も十分なほど行なわれ、参加者も楽しんだ雰囲気だった。荒川町の高橋徳三さんも新しく仲間入り。

9月8日 (日)	山北町	歴史ふるさとウォッチング 佐藤伊勢男 様 (山北町文化財調査審議会委員長)	村上市 23人 朝日村 17人 山北町 20人 職 員 10人 合 計 70人
-------------	-----	---	---

事務局の感想
天候にも恵まれ、暑くもなく最適な条件でスタート。しかし、山北町防災訓練の開催で、昼食・休憩用に予約していた町民会館和室を使用できず、少し問題があった。また、午前中の佐藤さんの説明時間も少なく、切り詰めていただいた。
歩く距離は適当で、県境の小名部まで道路も舗装され条件はよかった。



〔受講者の感想〕

〇3市町村合同の講座は私にとって初めてでしたが、すごくいいことだと思いました。講師もスタッフも、また内容もすごく充実していて、私たちはいろいろなることを吸収させてもらったと思います。(村上市Sさん)
〇村上市での開講式で話された戸川安章先生の「出羽三山と信仰の路」は、私にとって大変に役立ちました。あれがこの辺での山岳信仰の走りであろうと思っています。私もこういうことが好

きなので、今後調べていきたいと思っています。(朝日村Sさん)
〇この講座に休まず参加できたことは、本当によかったと思います。
6月から3市町村の合同講座があると聞いて、少しでも見聞を広めて、他の地域の人と交流ができればいいなあと思って参加しました。(山北町Tさん)
◇その他、再度講座開設を願っていたが、割愛せざるを得なかったのが残念である。(鈴木記)

サークル交流

夢を語り やりたいことをやろう

小滝竹の子会

「この手で創ろう未来」をスローガンに、色々なことに手をつけているなんでもあり？の青年を中心とした会です。

会は昭和54年に、数人の若者が企画したディスコパーティをきっかけに結成され、現在は26名の会員がいます。

当初から、夢を語れる人になる。やりたいことを積極的にできる人になる。を合い言葉に、思いつくまま様々な取組み



をしてきましたが、今はその中でも「ふるさとカーニバル」がメインの活動です。7月の2日間、巨大魚で有名な高浪の池を会場に、野外ステージ、野外食堂を設営し、地域内外の交流の場づくりに頑張っています。

また郷土芸能の保存活動にも力をいれ、獅子舞、子ども達による稚児の舞に取り組んでおり、今後は歌舞伎にも挑戦したいと思っています。

会の結成から20年になる現在、地域の過疎化は激しさを増していますが、くじけずに走っていきたいと思っています。

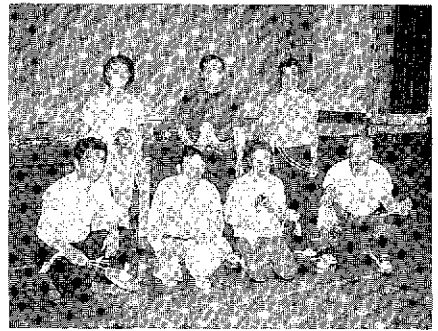
(糸魚川市小滝公民館 中村 久和 記)

春駒に魅せられて

畑野町春駒愛好会

「テントクテン、テントクテン、めでたあや、めでたあや」広いホールに軽快な太鼓の音が響く、ここは畑野町農村環境改善センターです。

毎月第一第三水曜日午後七時半になると郷土芸能「春駒」の練習が始まります。軽妙な踊りに魅せられた仲間十五人程が集まり、地方(じかた)の太鼓に



合わせ、右手に鈴を付けた木彫りの馬を持ち左手で手綱を引く「無病息災、五穀豊穡」を唱えながら約十分くらい踊ります。二回程踊ると汗がにじんで、体が軽くなったように感じ、普段の運動不足も解消されます。

佐渡では大変おめでたい踊りとされ、今では、結婚式とかお祝いの席に良く春駒舞が披露されるようです。愛好会のみならずも親戚等の結婚式などに踊りたい気持ちで入会し、練習に励んでいます。即興のセリフと太鼓に合わせて足を運ぶ間が大変難しく、苦労しているようです。

しかし、必ずいつかはステージの主役になれる日を頭に描いて、先輩達の指導の下に汗を流してまいります。

(畑野町春駒愛好会 今井 弘 記)

柏崎市柏崎公民館

主査 力 石宗一 氏

墨田川の水で産湯をつかい、光化学スモッグの洗礼を浴びて育った色白の青年は、いつしか柏崎の地に安住の居を構えたのであります。それからというもの、彼は水を得た魚のようにスイスイと泳ぎ回り、ついに四月から柏崎公民館と巡り合ったのであります。着任するや否や、



右往左往、前略後略、分からん知らんの活躍で筆者のま

素顔拝見

「柏崎公民館 高橋 敏郎 記」

西山町教育委員会

主事 伊比 孝 氏

今年で3年目を迎える彼は、主にスポーツ関係を担当し、西山町の教育委員会には無くては成らない存在である。



頭になってみんなを引張っていく。又、最近ほうん

中学校の頃に卓球で全国大会に出場したことがあり、その精神力、体力は常人の域を超えているのではないかと思う。どんなに忙しい時でも、ニコニコしながら仕事をし、頼まれるとイヤといわずに何でもこなしてしまふ。

スポーツ事業についても積極的に新しいことに取り組み、先

万円もするコンピュータを白費で買い、仕事に取り入れるなど、正に「職場のかがみ」である。たまの休みにになるとマイホームパパに変身し愛娘と愛妻に尽くすスーパーマンである。これからも町民のため、愛する家族のために頑張って頂きたい。

(西山町教育委員会 押見 敏 記)

恵贈資料紹介

青少年育成新潟県民会議

会長 佐藤貞正

夏の特別展

空気のおもしろ科学

新潟県立自然科学館

新潟県立自然科学館では、夏の特別展として「空気と遊ぶ」を実施します。

これは、空気の基本的な性質にスポットを当て、生活の中の空気を解き明かす展覧会です。この展覧会で、子供たちは、初め空気の性質の面白さ、不思議さに注目し、次に自分で体験し、そして空気の基本的性質を理解するようになるでしょう。そして、生活に役立つ空気の知識を得ることになります。

新潟市女池字蓮湯東

一緒に出かけになってみてはいかがでしょうか。
開催期間 平成9年7月25日から8月31日まで(ただし期間中の月曜日は休館日です)
会場 新潟県立自然科学館

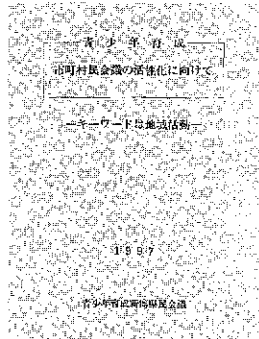
あとがき

◇県大会、関プロ大会、全国大会等行事目白押し、要項案内送付から大会参加申込みに至るまで事務局は多忙を極めております。県大会もあと十日余りと迫って参りました。村岩地区実行委員会と連携を密にしながら当日を迎えたいと思っておりますが、大会の成功に向け、なお一層のご協力方、よろしくお願いたします。(鈴木記)

ネットワーク

市町村民会議の活性化に向けて
市町村民会議の代表者会議で活動のマンネリ化が指摘され、これを受けて県民会議では、30周年記念事業の一環として「市町村民会議活性化のマニュアル」の作成に当たったものです。

年5回の全体会議と4回の小委員会を経て、佐藤会長の責任の下、基本的な考え方、理念、問題点等が第2章に6節にわたって述べられ、とくに第3章



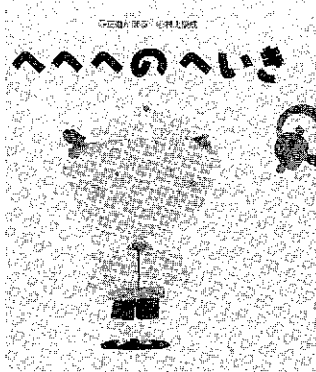
著者の正道かほるさん(74歳)は、新潟生まれ。幼少時、絵本で子どもたちの心を生きてきた。描いている。93年「でんぐりん」(あかね書房)により日本児童文学者協会新人賞及び、児童文芸新人賞受賞。初めてお使いを頼まれた主人公の「りゅうちゃん」が、途中いろいろな動物と出会う中、どきどきしながら「へへのへいき」と元気

幼年絵本

「へへのへいき」

文/正道かほる
絵/村上康成
発行/俣ひさかたチャイルド

図書紹介



著者の正道かほるさん(74歳)は、新潟生まれ。幼少時、絵本で子どもたちの心を生きてきた。描いている。93年「でんぐりん」(あかね書房)により日本児童文学者協会新人賞及び、児童文芸新人賞受賞。初めてお使いを頼まれた主人公の「りゅうちゃん」が、途中いろいろな動物と出会う中、どきどきしながら「へへのへいき」と元気

新山協「中高年登山教室」募集

- 趣旨 黒姫山の自然と共に安全で楽しい登山とは何かを学ぶ。
- 内容 山での歩行、読図、衣食、装備、マナーの基礎知識
- 期日 9月6日(土)7日(日)
- 集合 9月6日(土) 11時30分 新潟市営陸上競技場前
- 登山 長野県黒姫山
- 主催 新潟県山岳協会
- 後援 県教委、県公連等
- 対象 中高年齢者
- 参加費 一七、〇〇〇円
- 申込方法 郵便振替にて住所、氏名、電話、血液型記入
- 定員 先着順96名締切り
- 問合せ 〇二五〇一六二一六 六四七(坂井)

表紙解説

ビジョンよしだ

開館以来32カ月で入場者29万人達成!!
高齢化社会、健康で充実した生活を送るために、と造られた健康づくりの拠点で、
・室内温水プール(4種類)
・ウォータースライダー
・24種の機器のあるトレニングルーム等の施設です。

発行所 新潟県公民館連合会

〒951

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共1,800円】